

CASBEE-建築(新築)2016年版
 梅の花 京都セントラルキッチン 新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート 実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質								2.3
Q1 室内環境					0.30			1.9
1 音環境				1.4	0.15			1.4
1.1 室内騒音レベル				2.0	0.40			
1.2 遮音				1.0	0.40			
1 開口部遮音性能				1.0	0.60			
2 界壁遮音性能				1.0	0.40			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-			
1.3 吸音				1.0	0.20			
2 温熱環境				1.3	0.35			1.3
2.1 室温制御				1.7	0.50			
1 室温				3.0	0.38			
2 外皮性能				1.0	0.25			
3 ゾーン別制御性				1.0	0.38			
2.2 湿度制御				1.0	0.20			
2.3 空調方式				1.0	0.30			
3 光・視環境				2.1	0.25			2.1
3.1 屋光利用				1.8	0.30			
1 昼光率				1.0	0.60			
2 方位別開口					-			
3 屋光利用設備				3.0	0.40			
3.2 グレア対策				2.0	0.30			
1 屋光制御				2.0	1.00			
3.3 照度				2.0	0.15			
3.4 照明制御				3.0	0.25			
4 空気質環境				2.9	0.25			2.9
4.1 発生源対策				4.0	0.50			
1 化学汚染物質		内装材はすべてF☆☆☆☆を利用する。 /		4.0	1.00			
4.2 換気				1.6	0.30			
1 換気量				3.0	0.33			
2 自然換気性能				1.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.33			
4.3 運用管理				2.0	0.20			
1 CO ₂ の監視				1.0	0.50			
2 喫煙の制御				3.0	0.50			
Q2 サービス性能					0.30			2.6
1 機能性				2.4	0.40			2.4
1.1 機能性・使いやすさ				2.3	0.40			
1 広さ・収納性				3.0	0.33			
2 高度情報通信設備対応				3.0	0.33			
3 バリアフリー計画				1.0	0.33			
1.2 心理性・快適性				2.6	0.30			
1 広さ感・景観		居室の天井高さCH2,700以上 /		4.0	0.33			
2 リフレッシュスペース				3.0	0.33			
3 内装計画				1.0	0.33			
1.3 維持管理				2.5	0.30			
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保				2.0	0.50			
2 耐用性・信頼性				2.6	0.30			2.6
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数				2.8	0.30			
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20			
2.4 信頼性				1.6	0.20			
1 空調・換気設備				1.0	0.20			
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20			
3 電気設備				1.0	0.20			
4 機械・配管支持方法				1.0	0.20			
5 通信・情報設備				2.0	0.20			

3 対応性・更新性			2.7	0.30		-	2.7
3.1 空間のゆとり			2.2	0.30		-	
	1 階高のゆとり		3.0	0.60		-	
	2 空間の形状・自由さ		1.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30		-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40		-	
	1 空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
	2 給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
	3 電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
	4 通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
	5 設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 敷外環境(敷地内)				0.40		-	2.4
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30		-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30		-	2.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		1.0	0.50		-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性							2.8
LR1 エネルギー				0.40			3.1
1 建物外皮の熱負荷抑制				-		-	-
2 自然エネルギー利用			3.0	0.13		-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.77 /	3.3	0.63		-	3.3
4 効率的運用			3.0	0.25		-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00		-	
	4.1 モニタリング		3.0	0.50		-	
	4.2 運用管理体制		3.0	0.50		-	
	集合住宅の評価						
	4.1 モニタリング						
	4.2 運用管理体制						
LR2 資源(マテリアル)				0.30			2.7
1 水資源保護			3.0	0.20		-	3.0
	1.1 節水		3.0	0.40		-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60		-	
	1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.4	0.60		-	2.4
	2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10		-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20		-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20		-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20		-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10		-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.20		-	3.6
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	内装材はすべてF☆☆☆☆を利用する。 /	5.0	0.30		-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70		-	
	1 消火剤		-	-		-	
	2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50		-	
	3 冷媒		3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境				0.30			2.6
1 地球温暖化への配慮		敷地内に駐車場及び駐輪場を確保 /	3.4	0.33		-	3.4
2 地域環境への配慮			2.0	0.33		-	2.0
	2.1 大気汚染防止		3.0	0.25		-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		1.0	0.50		-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25		-	
	1 雨水排水負荷低減		-	-		-	
	2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.33		-	
	3 交通負荷抑制	駐車場85台及び駐輪場18台を敷地内の確保 /	4.0	0.33		-	
	4 廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.33		-	
3 周辺環境への配慮			2.4	0.33		-	2.4
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40		-	
	1 騒音		3.0	0.33		-	
	2 振動		3.0	0.33		-	
	3 悪臭		3.0	0.33		-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		1.6	0.40		-	
	1 風害の抑制		1.0	0.70		-	
	2 砂塵の抑制						
	3 日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
	3.3 光害の抑制		3.0	0.20		-	
	1 屋外照明及び室内照明のうら外に漏れる光への対策		3.0	0.70		-	
	2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	